

戦時下の暮らし展

遺された資料が語りかけるもの

この「戦時下の暮らし展」では、県民の皆さまから提供いただいた防空頭巾、軍服などの貴重な資料のほか、戦時体制下の様子や戦争の恐ろしさ伝える写真パネルを展示します。

今回は、県内の高校生が空襲体験者のお話をもとに制作した『私たちが描く富山大空襲』も特別に展示します。また、語り部の方をお招きし、富山大空襲と語り部活動について、お話をさせていただきます。



防空頭巾

富山大空襲で焼け残った茶碗



おもちゃ



私たちが描く富山大空襲

令和
8年

8月13日 木 ~ 8月18日 火

9時から17時まで

会場：富山県民会館2階ギャラリーA、B
(富山市新総曲輪4-18)

「富山大空襲を語り継ぐ」

富山大空襲を語り継ぐ会

西田 亜希代さん、西田 七虹さん

8月16日 日 14:00~15:00
富山県民会館ギャラリーB

平和への願い〜富山大空襲の史実〜



令和7年度に戦後80年富山の平和を考える実行委員会（富山県、富山市、株式会社北日本新聞社）において、富山大空襲の記憶を後世に伝えるため、当時の証言や資料をもとに再現した大空襲の様子や、空襲体験者による語り部活動の様子を収録した映像集を制作しました。

映像は、こちらからご覧いただけます。

入場
無料